

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組12	集住化モデルの構築
②対応する目標・課題	低炭素・省エネルギー、地域の介護・福祉	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:エネルギー自給率	■目標値:7.1%(平成23年3月)→100%(平成30年)
	■評価指標:下川町まちづくりアンケート「地域での助けあいなどにより、高齢者が住みやすいよう支援体制が整っている」(満足+やや満足の割合)	■目標値:35.5% → 95%(平成32年)
④取組内容 超高齢化がすすむ下川町「一の橋」地区において、低炭素化、地域材活用、高齢者対応を同時に実現する地域モデルを確立するため、コレクティブハウスの建設やコミュニティスペースの確保など統合的なエリア開発を実施する。また、地域おこし協力隊など若者の移住・定着支援の取組みをすすめます。		
⑤エリア 下川町一の橋地区		
⑥主体 下川町		
⑦活用した国等の制度 環境未来都市先導的モデル事業補助金		
⑧地域の関与 地域おこし協力隊		
⑨スケジュール		
23年度	集住化モデルの構想検討、高齢者ソフト支援(地域おこし協力隊等)	
24年度	集住化モデルエリア開発設計、一部施工、高齢者ソフト支援(地域おこし協力隊等)	
25年度	集住化モデルエリア開発設計、施工、高齢者ソフト支援(地域おこし協力隊等)	
26年度		
27年度		
28年度		
29年度以降		
⑩他の取組との連携 ■小規模分散型再生可能エネルギー供給システムの整備 連携内容:集住化とあわせたエネルギー供給システムの検討		
⑪自立・自律の方針・目標 エリア整備の後、集住化する高齢者同士や若者等との協働による共同菜園やコミュニティレストラン等により、食糧自給や小規模ビジネスを創出し、コミュニティの自立化を図る。		